

氏名	岡田 葦生	専攻	社会学
		指導教授	清水裕士
研究領域	政治心理学		
研究題目	停滞する日本の政治参加に対する政治忌避態度による分析		
所属学会	日本社会心理学会・日本選挙学会・日本政治学会		
学歴 (学部入学から)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2014/3 京都大学法学部 入学 ・ 2018/3 京都大学法学部 卒業 ・ 2018/4 京都大学法学研究科法政理論専攻博士前期課程 入学 ・ 2020/3 京都大学法学研究科法政理論専攻博士前期課程 修了 ・ 2020/4 京都大学法学研究科法政理論専攻博士後期課程 入学 ・ 2022/3 京都大学法学研究科法政理論専攻博士後期課程 退学 ・ 2022/4 関西学院大学社会学研究科博士課程後期課程 入学 		
教歴 担当授業科目			
研 究 業 績			
著書、論文、翻訳、研究報告等題名	発表年月	掲載誌または発表場所	備考
岡田葦生「政治忌避意識の心理的構造」	2024	『選挙研究』第39巻2号（ページ数未定）	
岡田葦生・浅野良成「疎外の意味の日米比較」	2023	日本政治学会研究大会	招待あり
岡田葦生「一般他者の選好の推測が政治的会話への抵抗感に与える影響」	2023	日本社会心理学会第64回大会	ポスター報告
岡田葦生「いつ会話は『政治的』になるのか」	2023	日本選挙学会	ポスター報告
Ashu OKADA and Kazunori INAMAS “Can Explaining One's Own Knowledge Elevate Voters' Efficacy?”	2023	Society for Personality and Social Psychology	オンデマンド報告
岡田葦生・稲増一憲「知識の言語化は政治的有効性感覚を高めるか」	2022	日本社会心理学会第63回大会	
岡田葦生「書評報告：Busby, E. C., Howat, A. J., Rothschild, J. E., & Shafranek, R. M. 2021. The Partisan Next Door: Stereotypes of Party Supporters and Consequences for Polarization in America. Cambridge University Press.」	2022	関西政治経済学研究会（Y&R）	
岡田葦生・稲増一憲「有権者が無知を知るとき：説明深度の錯覚を用いた主観的な政治知識量の影響の検	2022	第40回政治コミュニケーション研究会	

<p>討」 岡田葦生「政治忌避意識の心理的構造」</p>	<p>2022</p>	<p>日本選挙学会</p>	
<p>岡田葦生「有権者はどのように政治的有効性感覚を形成するのか：縦断データを用いた内的有効性感覚と外的有効性感覚の相互作用の検証」</p>	<p>2021</p>	<p>日本社会心理学会第 62 回大会</p>	